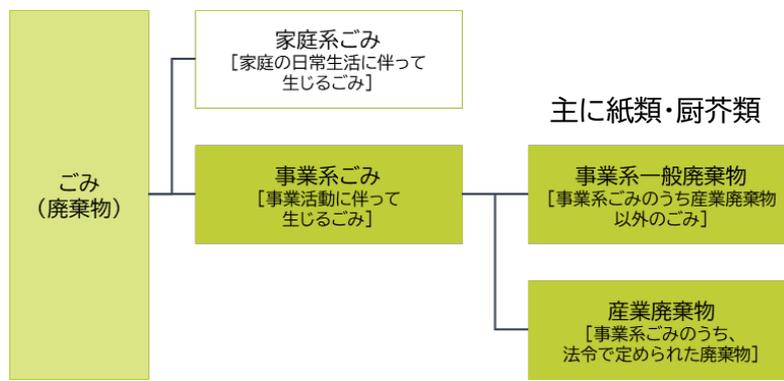


東大阪市一般廃棄物処理基本計画について

◎概要

- 策定根拠:廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)第6条第1項
・「市町村の区域内の一般廃棄物(図1)の処理に関する計画を定めなければならない。」
- 計画期間(図2)
・現計画は令和3年3月策定。国の指針では概ね5年で見直しとされており、令和7年度に見直しを行う。
- 計画の構成(図3)
・「ごみ処理基本計画」「生活排水処理基本計画」「食品ロス削減推進計画」

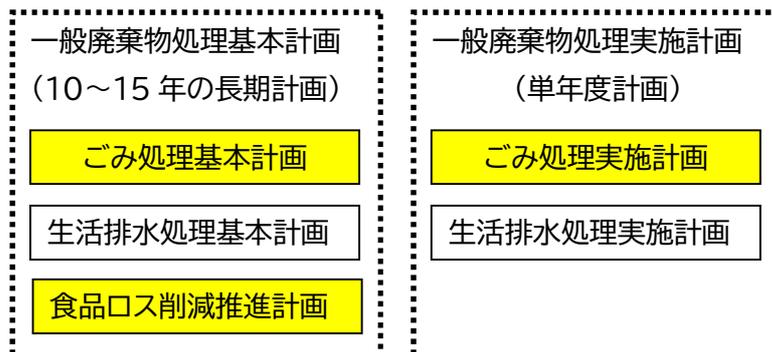
◎一般廃棄物とは(図1)



◎本市一般廃棄物処理基本計画の計画期間(図2)



◎一般廃棄物処理計画の構成(図3)

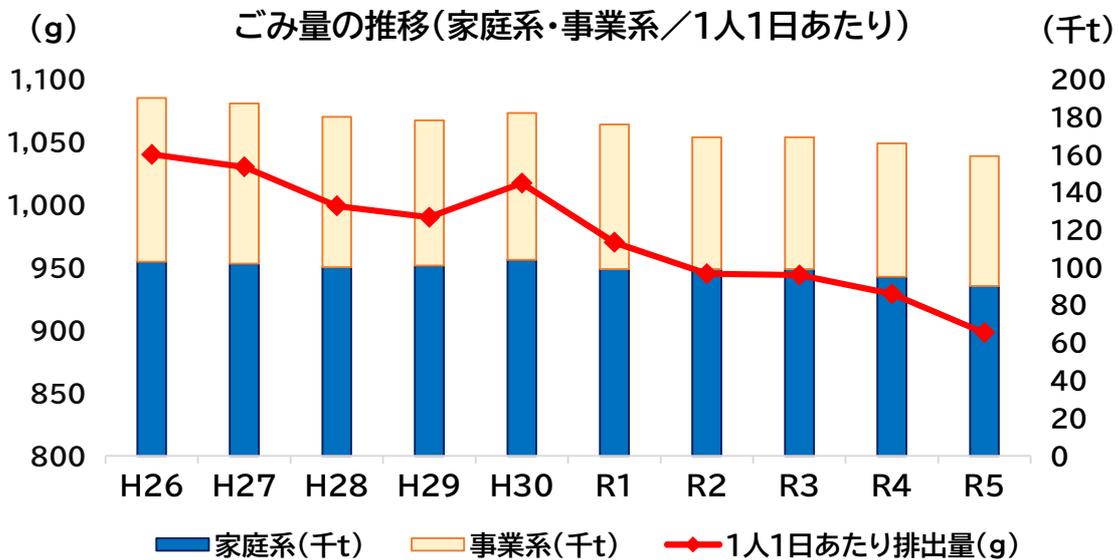


◎一般廃棄物処理基本計画(第7期)の進捗状況

目標 種別	項目	R5		R7	R12
		実績	目標	目標	目標
基本目標	焼却処理量(t)	152,198	159,173	153,841	140,709
	資源化率(%)	12.8	16.1	18.0	21.7
	最終処分量(t)	23,609	25,802	25,068	22,951
個別目標	家庭系ごみ 1人1日あたり排出量(g)	508	541	525	501
	事業系ごみ総排出量(t)	69,203	70,411	69,198	64,784
	食品ロス発生量(t)	26,562	27,413	25,997	22,082

- 令和5年度時点では資源化率以外の目標は達成
- 資源化率の停滞は集団回収量の減少によるところが大きい。

◎過去10年間のごみ量の推移



- ごみの総量、1人1日あたりのごみ量ともに減少傾向
- 平成30年度の増加は大型ごみ収集有料化に伴う駆け込み排出によるもの